

研究会名「IT 技術者のウェル・ビーイング」

研究テーマ「IT 技術者にとってのやりがいをつくる」

第 1 回会合報告

日時：4 月 21 日（日）10 時～12 時半

場所：放送大学文京学習センター 学生相談演習室 1

参加者：6 名

- 1) 参加者それぞれのシステム開発にかかわる経験をふまえて、It 技術者にとってのやりがいとは何かについてお話しをいただきました。
- 2) 次に、It 技術者が現在やりがいを持ってない要因には、どういったことが考えられるかについて意見を交わしました。年齢・背景が異なる参加者同士がどういった考えを持っているのか共有できました。
- 3) 2) の議論から、個人のやりがいは他者や環境との相互作用に規定される部分が多く、そこから発生する独自性に捉われると、多くの人に受け入れられる議論がしづらいとの共通認識に至りました。そこで、社会の状況や社内外の周囲との関係性から起こることに観点を置くのではなく、外部からの影響を受けない「やりがい」に絞って進めてはどうかという意見がでました。

< 今後の予定 >

- ・次回（第 2 回、7 or 8 月）は、IT 技術者のやりがいについて、オートポイエーシスにより整理する予定にしています。
- ・第 3 回以降、より議論を深め、11 月末の情報システム学会研究発表大会にて、中間発表をする予定です。

調査研究への協力お願い

IT 技術者の方々にとってのやりがいに関連し、IT 技術者の「心とからだ」の状態は良い方向に向かっているとは言えません。やりがいをつくる上で「心とからだ」の問題は避けては通れません。

IT 業界で働く方々のメンタルヘルス取組の促進のため、現状を調査することを目的に、「アレキシサイミア傾向、ストレス、抽象化能力に関する調査」を実施しています。記名式の質問紙によるもので回答に要する時間は 40 分程度、希望者はストレスに関するフィードバックが受けられます。この調査に協力いただける方、自身のストレス状態に興味のある方は、研究調査者である三村和子(kazu3_mimu11@ac.auone-net.jp)までお知らせください。